

令和5年度 下阿多古小学校グランドデザイン

- ◆国の施策
・「生きる力」の育成 ・社会に開かれた教育課程
- ◆はままつの教育
・自分らしさを大切にす子供
・夢と希望を持ち続ける子供
・これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供
- ◆清竜中学校区
自分の良さに気づき、他者との関わりを大切に、夢に向かって努力する子

- ◆校区の実態
○阿多古川を中心とした豊かな自然に恵まれている。
○温かな地域との関わりを通して、学校や子供たちは、見守られ、支えられている。
- ◆児童の実態
○明るく素直で学年関係なく接する。
○真面目でやるべきことを確実にやり遂げようとする。
▲自分で判断し行動したり、粘り強く取り組んだりする。
▲友達とのより良い関係づくり、関わり方

校訓

「強く 正しく 朗らかに」

目指す子供の姿

ふるさとを愛する子

学校教育目標

夢に向かい 共に学び 行動する子

教育目標具現のための3つの柱(キャリア教育の推進)

将来設計・選択の力
(未来のわたし)

他者に働き掛ける力・
コミュニケーション力
(大切な仲間)

計画・立案・実行・評価の力
(計画と実行)

< 確かな学力 >

- 「自分の考えをもち進んで伝え合う子の育成」を目指した研修
・主体的・対話的で深い学び ・個別最適な学びと協働的な学び
- ICT機器の活用促進と情報活用能力の育成 (情報活用の実践力・情報モラル)
- 地域の人材や環境を活用した教育活動の推進 (「地域で」「地域を」「地域から」学ぶ)

< 豊かな心 >

- 「今、何をすべきか」を考え、行動する子を育む機会や場の設定
・ 気づいて行動 ・ ソーシャルスキル ・ 動と静の切り替え ・ 聴く姿勢
- 多様性にふれ、他者を尊重し、自分の可能性を広げる場の設定(異学年交流、連合教育)
- 自分から進んで行う気持ちのよいあいさつの励行
- 自分のよさを知り、なりたい自分を思い描く場の設定
- なりたい自分になるために、考え実行する姿への支援

祝150周年



< 強い心と健やかな体 >

- 個に応じた自力解決と挑戦の場の設定及び、個に寄り添った支援
・ 「分かった」「できた」の積み上げ ・ 「分からない」と言える
- 体力や技能の向上に向け、めあてを持って運動に取り組むことができる場の工夫
- 心身の健康や安全に対する意識を高め、実践につなげる機会の設定

安定した学校経営の基盤

- ◆ 児童・保護者・教職員が安心できる学校風土づくり (温かくてやさしく、ほのぼのとした学級・学校)
- ◆ 保護者や地域から信頼される学校の推進 (学校だより、ブログ、教育相談体制、コミュニティスクール)
- ◆ 家庭との連携による学習・生活習慣の確立 (家庭学習の手引き、保健だより「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発)
- ◆ 児童の健康と安全を守る環境づくりと危機管理体制の見直し (施設・設備の管理、危機管理マニュアル)
- ◆ 教職員の資質向上と心身の健康増進の両立 (学び続ける教師 実効性のある働き方改革)

「また明日。」と、みんなが思える学校 ~ ウェルビーイングの実現 ~